

Proud!  
Japan

東日本大震災の復興を支援しよう

7月20日～27日  
まで支援にあたった第  
21次隊が撮影した写  
真を掲載します。



▲倉庫の屋根に打ち上げられた  
車両の引きおろし作業風景



▲いまだ多くのガレキが残る大船渡市内の様子



▲復興支援チームが担当する義援金支払い窓口



▲4階まで水に浸かったアパート



▲海岸に流されたままの家屋

## 津波対策検討委員会 を開催

東日本大震災を受け、第1回目の津波対策検討委員会を7月14日(木)に開催しました。

本町は、志布志湾に面し、7キロの海岸を持つことから、震災の教訓を継承し津波による災害へ備えるために開催したもので、会議には、県の地域振興局、警察、消防、地元消防団員、自治会の役員など24人が出席しました。

県の防災アドバイザーなどを務める鹿児島大学大学院の井村隆介准教授が委員長に選ばれ、自らの自然災害研究や東日本大震災後、現地で行った被害調査などについて説明を行いました。

井村教授は、平成18年度に作成した防災マップを示しながら、住民が避難する際に経路などを盛り込むことなどを助言し、参加者からは「防災マップの見直し作業や海抜を記した設置が必要ではないか」などの意見が出されました。

また、「これらの対策と同時に住民の意識改善や啓発活動を重点的に行ってほしい。」などと活発な議論が行われました。

